

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」石川県庁前校			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 3日		～	2025年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	3名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 3日		～	2025年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な資格や前職の経験を持った職員がいることをいかし、利用者様のニーズや特性に合わせたオーダーメイドでの支援が提供できるように努めていること。	保育士や教員などの経験を経て入社した職員や大学で心理や保育を学んだ職員がおり、それぞれの経験を踏まえた多角的な視点からプログラムを組み立てる事ができている。それぞれの職員の経験を通してお互いに意見やアドバイスを出し合いながら、支援を組み立てる事ができている。	全ての職員がその利用者様の特性や支援状況等を把握していく事ができるよう、情報共有の機会を今後もしっかりと確保していくようにする。
2	園や学校、家庭での情報共有をしっかりと行っている事や、関わりを大切にしながら支援を進めていること。	支援後に必ずその日の支援の様子を保護者様と共有させて頂く時間を設け、お子様の家庭や園、学校での様子や、最近の困り事などを細かく情報を共有していく事で、支援内容の改善や向上に努めている。	担当と保護者様の間で共有されている情報に関して、全ての職員が確実に把握していく事ができるように、今後も、朝礼や終礼の時間等を適宜利用して、お子様の情報共有に努めていく。
3	イベントを通して充実した小集団活動を実施していること。	毎月の祝日を中心に「きらりひろば」という小集団のイベントを開催している。普段は個別での関わりが中心であるが、工作や運動、ゲーム性のある活動を通して他の利用者様と関わる経験を積む事で、お子様の成長を促している。	現在は基本的には毎月のイベントの中で活動を行っている事が多いが、利用者様の要望に合わせて、イベント以外の場合でも小集団活動に取り組んでいく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内のバリアフリー面で課題があること。	事業所がビルの2階にあることから、足の不自由な方や車椅子の方への対応が難しい。階段の幅も広くはなく、段差も急な部分があるため、体の不自由な方への対応が難しくなっている。	捕助が必要な際は駐車場まで職員が迎えに行くなどの対応を行う。また、近隣の系列校舎（金沢ベイエリア校）は平屋の建物でサービスを行っているため、そちらへの紹介等も必要に応じておこなっていく
2	事業所の環境面での課題があること。	各部屋への空調の調節の関係で各個室の上部が完全に仕切られていないため、各部屋の支援中の声等が別の部屋に届いてしまう事がある。大きな音等に過敏に反応されるお子様の支援の際には、注意をする必要がある。	周りの音に敏感な利用者様の支援時間を調整したり、場合に依りて仕切られていない部分を覆って音の響き等を低減させるなど、その都度対応を行っていく。
3	保護者会等を含めた保護者同士の交流	以前は、小学校に入学を控えている保護者様同士の交流会や、高校受験や進学を控えている中学生の保護者様同士の交流会等を行っていたが、新型コロナウイルス蔓延に伴い、感染予防の観点から開催を控えている。	今後、保護者様の要望やニーズに応じて、保護者様同士の交流の機会を設けていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」石川県庁前校

公表日 2026 年 1 月 23 日

利用児童数

8名

回収数

3名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3					職員配置については、法令を遵守して、適切に対応しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1	2				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3					今後も生活空間を生活に保ち、掃除や消毒等をしっかりと行います。
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	1				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。		1		2		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1		2			地域の保育所や幼稚園等との交流はありませんが、祝日でのイベント等の機会を利用して、利用者様同士の交流については今後も機会を設けていきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	1		1		今年度は保護者様同士が関わる場を設ける機会はありませんでしたが、必要に応じて機会を設定していきたいと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3					今後も支援後のフィードバックの時間など、保護者様と情報を共有できる時間をしっかりと確保し、お子様の支援に繋げて参ります
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2			1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		2		1		今年度は保護者様同士が関わる場を設ける機会はありませんでしたが、必要に応じて機会を設定していきたいと思います。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	1				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1	1		1		事業所のホームページ上にイベント等の様子を紹介したブログがございますので、またご覧いただけたらと思います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1			2		安全計画や防犯マニュアル等を作成しまして、それに沿った訓練を定期的に行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1			2		避難訓練については毎月実施しております。3月・9月につきましては利用者様にもご参加頂く避難訓練を実施します。機会がありましたら、ご参加頂けたらと思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1	2				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1			2		事故や怪我等が発生した際の対応については、契約時の重要事項説明の中で行っております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	3					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2	1				今後も一人でも多くの方に「楽しい」と思ってもらえるように支援を継続していきたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	3					今後も利用者様の成長に繋がる支援をしっかりと行っていききたいと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「きらり」石川県庁前校		2026 年 1 月 23 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用者様の特性に合わせてスペースの確保や定員の設定を行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		職員配置基準にのっとり適切な人員配置を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		利用者様に合わせてフロアや個室を使用したり、椅子や机を使い分けたりして環境を整えている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃や消毒作業を徹底し、清潔な環境の保全に努めている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		利用者様の特性や希望に応じて活動場所を柔軟に選択できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		ミーティングを行い、情報共有を行いながら業務の振り返りや見直し、改善を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケートでの意見を職員内で周知し、業務改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的にミーティングを開き、業務の進め方について共有し、改善点等がないかを確認している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		連携先の発達支援研究所が主催する研修に定期的に参加し、支援の資質向上を図っている。また、行政が行う研修にも参加している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		行政が指定する方法に従ってプログラムを公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		利用開始前のアセスメントで得られた利用者様の特性や、保護者様、相談員からの意見や情報を基に計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		モニタリング会議の場だけではなく、普段から職員同士でお子様の情報について共有しながら計画を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画に沿った支援を行っている。また、モニタリング会議では個々の支援状況についての確認も行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		会社指定のアセスメントツールを使用している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインの内容に沿って適切な項目や支援内容の設定を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		全職員で定期的なミーティングを行い、全職員で計画の立案や見直しを行っている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用者様の発達段階や特性に応じて、柔軟にプログラムの変更を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別療育のほかに、小集団イベントも開催し、他児と交流を図る等の工夫を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼での情報共有や支援前の打ち合わせ等で、支援内容の確認を行い、連携できる体制を整えている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼での全体周知や、支援後管理者に報告するなど、情報共有の場を設けている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回の支援後に記録を作成し、支援の検証や見直しに繋げられるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリング会議を定期的に開催し支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管が主として参加する事が多いが、利用者様の状況に応じて担当指導員が参加したり、情報提供を行いながら丁寧に情報の共有を行っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		ご家族からの要望に応じて行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		ご家族からの要望に応じて行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		ご家族からの要望に応じて行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)		○		今年度はスーパーバイズや助言を受ける機会はありませんでしたが、今後は必要に応じて機会を設けていきたい。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		地域の保育園等との活動は行っていないが、小集団イベントで他利用者様やそのご兄弟（姉妹）との交流の機会を適宜設けている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の情報共有や支援後のフィードバックを丁寧に言い、ご利用者様の課題を共通理解するよう努めている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		ペアレントトレーニングは行っていないが、ご家族の相談にはその都度対応を行っている。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約の際に説明を行っている。また、ご利用者様からお問い合わせがあった際には迅速に対応を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画作成前に、保護者様に面談し、お子様の現在の様子や保護者様のニーズを聞き取っている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		契約時やモニタリング会議後に作成した個別支援計画について説明し、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて保護者様の相談に対応し、家庭や園での様子を踏まえて助言を行ったり、支援方針について話し合ったりしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		以前は、保護者様同士が交流する会を開催していたが、新型コロナウイルス感染症流行後は、感染対策として開催を控えていた。今後は保護者様のご要望を踏まえて開催を検討する。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や苦情の申し入れがあった際は迅速に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページ上で小集団イベントの様子を掲載したり、防災訓練などの様子をお知らせしたりしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の記載がある書類は鍵付き書庫で保管をしている。また、ホームページ等に情報を提供する場合はその都度保護者様に同意を頂いている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ご利用されるからの特性や状況に応じて視覚的ツール等を用いる等の対応を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			地域住民参加型のイベント等は行っていないが、地域の店舗や園・学校などにイベントチラシやパンフレット等の設置に関する挨拶に回っている。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルは職員に周知を行い、感染防止対策については、職員だけではなく、保護者様にも周知を行っている。	
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		計画を作成し、月に1回は防災訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用開始の際に保護者の方に確認を行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		支援の際に食事の提供は行っていないが、利用開始前のアセスメント時に保護者の方に確認を行っている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		計画を作成し、それに沿って対応を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		初回契約時に安全確保に関する説明を行なっている。取り組み内容に関して変更がある際は適宜保護者様に周知を行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが起こった際には事業所内で周知・情報共有を行い、再発防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		行政の行う虐待防止研修に参加している。また、法人内でも年に3回研修の機会を設けている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に保護者様に説明を行なったり、個別支援計画に記載した上で説明を行ったりしている。	